

令和5年度 予算のお知らせ

去る2月15日の組合会で、令和5年度予算が決議されましたので、その概要をお知らせいたします。

【一般勘定】医療費・納付金等の支払のための勘定

●保険料率

保険料率は6.0%に据え置きました。

当組合の保険料率改定ルールでは、原則3年に一度保険料率の見直しを行うこととしております。同保険料率は今年度で2年目となりますが、組合員の医療費や高齢者向け納付金、そして積立金の額を考慮して来年度以降の保険料率について、見直しすることも検討していきたいと考えております。

●収入

主な収入である保険料収入は、52億98百万円を見込みました。被保険者数は令和4年7月以降に拡大したことから、7,508名と前年度決算見込より268名増加する見込みです。また平均標準報酬月額も増加傾向であることから、保険料収入も前年度より増収を見込んでいます。

●支出

令和5年度予算における支出総額は、予備費を除き53億78百万円を見込みました。組合の主な支出は、医療費と高齢者向け納付金で占められています。

○保険給付費（医療費）

医療費は、令和4年夏以降に新型コロナウイルス感染症に関する外来受診者数が拡大していることや、出産育児一時金の増額等を踏まえ、令和5年度は前年度決算見込対比5.4%増の21億98百万円の見込としました。

○納付金

高齢者医療制度への納付金は、前期高齢者納付金が前年度決算見込より2億6百万円増の3億97百万円、後期高齢者支援金については前年度決算見込より2億22百万円増の20億78百万円、予算総額として前年度決算見込より4億28百万円増の24億75百万円としました。

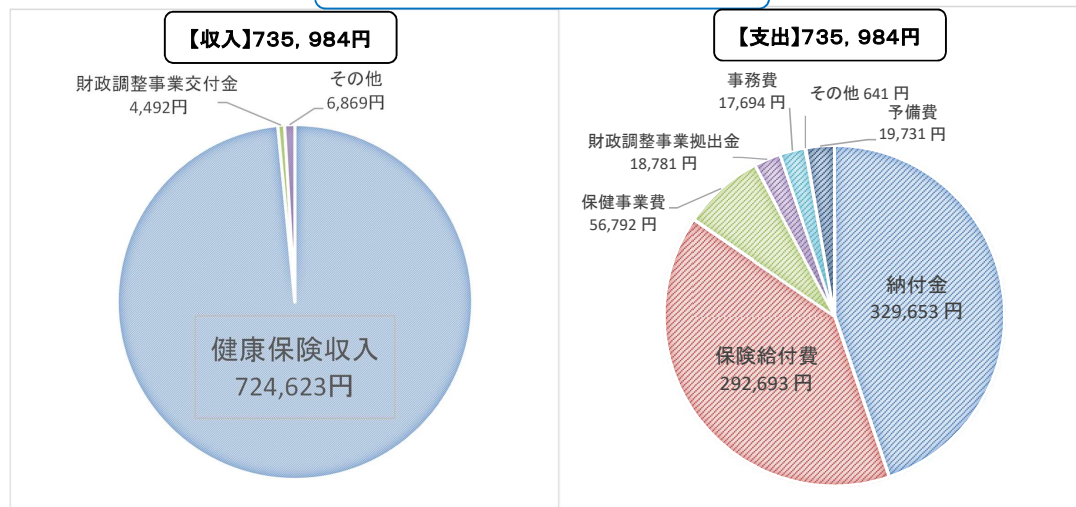
我が国の高齢者医療制度は、75歳以上を対象とする後期高齢者医療制度と、65歳以上74歳以下を対象とする前期高齢者医療制度に区別されます。いずれの制度においても制度単体での運営が困難であることから、健康保険組合をはじめとする保険者より多額の医療費支援金を拠出してもらうことにより運営を賄っています。

○保健事業費

保健事業費は人間ドック受診者数の拡大、新しい事業への整備費用等を盛り込み、前年度決算見込比48百万円増、総額4億26百万円を見込みました。保健事業費は皆様の健康を維持するための費用であり、国が提唱する日本再興戦略に基づいて進められているデータヘルス計画にも関係しているなど、その重要度は増えていますので、今後も当組合は力を入れてまいります。

予算の基礎数値		収入支出予算 (億円)			
		収入		支出	
・被保険者数	7,508 人	健康保険収入（保険料）	54.4	事務費	1.3
・平均標準報酬月額	673,058 円	繰入金	0.1	保険給付費	22.0
・総標準賞与額	309億22 百万円	財政調整事業交付金	0.3	納付金	24.8
・平均年齢	43.49 歳	その他	0.4	保健事業費	4.3
・扶養率	1.1 人			財政調整事業拠出金	1.4
収入支出予算（総額）	55億26 百万円			予備費・他	1.5
収入支出予算（被保険者一人当たり）	735,984 円	収入合計	55.3	支出合計	55.3
保険料率	6.00 %				

◆収入支出内訳（被保険者一人当たり）



【介護勘定】介護保険制度維持のための勘定

介護保険料は、介護保険制度全体を支える費用として国から示された金額を支払うために、40歳以上65歳未満の会社にお勤めされているご本人（被保険者）から徴収しているものです。令和5年度の介護納付金は、令和4年度より28百万減の7億67百万円であったため、介護保険料率は前年度より1.4%下げて1.62%としました。

予算の基礎数値（40歳以上65歳未満）		収入支出予算 (億円)			
		収入		支出	
・介護保険第2号被保険者たる被保険者数	3,717 人	介護保険収入	7.5	介護納付金	7.7
・平均標準報酬月額	706,035 円	繰越金	0.7	予備費	0.5
・総標準賞与額	150億78 百万円	収入合計	8.2	支出合計	8.2
収入支出予算（総額）	8億20 百万円				
介護保険第2号被保険者たる被保険者一人当たり	220,725 円				
介護保険料率	1.62 %				